第67回 県電設業協会×県土木部 官民懇談会

資材調達難に配慮求める
リース適正化など4項目要望


要望書を手渡す和田本会長（中央）

県電設業協会と県土木部の第67回官民懇談会がこのほど開かれ、同協会は電気設備工事をめぐる課題への対応を求める要望書を、和田本聡会長が和賀正光・土木部長に手渡した。

要望は、①中東情勢に伴う主要資材の調達難への配慮や柔軟な工期設定②急激な資材高騰・工期延長に伴う適正な契約変更の推進と市町村への運用指導③リース一括発注に関する土木部の模範的役割と他部局への波及④電気工事の特性や地域の実情に即した入札制度・条件の見直しの4項目。

手交後、県営繕課との懇談会が開かれ、同協会は、資材価格や調達環境が大きく変化する中、受注者が適正な施工体制を確保できる環境づくりが必要とし、発注者側の柔軟な対応を求めた。また、リース方式による電気設備の一括発注については、地域の電気工事業者への発注機会にも関わる課題として、土木部が率先して適正な発注方式を示し、他部局にも広げるよう要望した。

さらに、電気工事は一般の土木工事とは異なる専門性や施工条件があることから、入札参加資格や発注条件について、電気工事の特性と地域事情を踏まえた見直しを求めた。



要望事項と県の対応

1. 中東情勢に伴う主要資材の調達難への配慮および柔軟な工期設定等

電設業協会：中東情勢の緊迫化に伴い、原油・ナフサやポリエチレン、ポリプロピレンなどの供給不安から、高圧ケーブルの受注停止、樹脂製配管・保温材の逼迫、指定色塗料の供給停滞など、深刻な調達難が生じている。特に高圧ケーブルは主要メーカーが相次いで受注制限を行い、代替調達も困難。不可抗力による遅延への柔軟な工期延長と、余裕を持った工程設定、不利益な取り扱いをしないことをお願いしたい。

県：適正工期の算定資料や類似工事を参考に工期を設定しており、引き続き適切な工期設定に努める。受注者の責めに帰すことができない特殊な事情による工期延長には柔軟に対応する。

2. 急激な資材高騰や工期延長に伴う適正な契約変更の推進と市町村への運用指導

電設業協会：工期延長に伴う現場管理費などを適切に精算するとともに、資材高騰を実勢価格に迅速に反映できるよう、価格改定手続きの簡素化や簡易スライドなどの導入をお願いしたい。市町村にも制度の算出方法や運用を周知・助言し、必要な財政措置への支援を含め、県内自治体で適正な契約変更が行われるよう指導していただきたい。

県：営繕工事では、工期延長に伴う設計変更時に共通費を適切に対応している。資材価格の急激な変動にはスライド条項を適用し、取引価格に基づく契約変更を実施。算定用の計算書・計算例やナフサ由来資材の運用をホームページに掲載している。市町村にも情報提供し、適正な対応を周知する。

3. リース一括発注に関する土木部の模範的役割と他部局への波及

電設業協会：公共施設のＬＥＤ化などのリース一括発注は、本来「電気工事」とすべき施工を「物品」のリースに含めるもので、建設業法の趣旨に照らした整理が必要。土木部の適正な分離発注に感謝するとともに、地元業者の技術力や雇用、災害時の即応力を守るため、今後も継続し、他部局にも広げていただきたい。

県：営繕工事ではＬＥＤ化に係る電気工事を発注し、地元企業の受注に配慮した条件を設定している。他部局から相談があれば情報提供を行う。道路照明灯のリース方式は採用しておらず、老朽化や道路の重要度などに応じてＬＥＤ化を進め、県内企業に電気工事として発注している。今後も地元電設業者の受注機会確保に努める。

4. 電気工事の特性や地域の実情に即した入札制度・条件の見直し

電設業協会：施工品質の確保に向け、電気工事の特性に即した受注環境の整備をお願いしたい。総合評価方式のしきい値引き下げに伴う調査手続きの簡素化・迅速化や、協会が県内４エリアで構築する災害時対応体制を踏まえた入札参加条件の適正化に配慮していただきたい。

県：同一時期・同一条件の分割発注案件では、重複する提出書類を省略する一括審査方式を導入し、手続きの簡素化・迅速化を図っている。今後も競争性・透明性を確保しながら、地元建設業者の受注機会に配慮して入札参加要件を定めていく。



要望後の懇談会で、和田本会長は、県側の対応に謝意を示した上で、「業界を取り巻く状況は非常に厳しく、会員からさまざまな声が上がっている」と説明。資材調達や価格高騰など、要望事項以外の課題も含め、率直な意見交換を呼び掛けた。

これを受け、小林律之営繕課長は、県の公共事業への協力に感謝するとともに、昨年度22件、今年度34件の電気関連工事を予定していることを報告。担い手確保や技術者育成、週休２日制、情報共有システム、遠隔臨場、電子契約など、働き方改革やＩＣＴ活用を進めていると説明した。



工期延長に伴う現場代理人・技術者の兼務について

電設業協会：資材納入遅延などで工期が延びると、現場代理人や技術者が拘束される。工事一時中止時の技術者の配置変更や兼務などの制度について、資料の作成や説明会など、周知をお願いしたい。

県：一定の条件で兼務が可能。４５００万円未満の工事では主任技術者の専任も不要となる。制度が分かりにくいとの意見を踏まえ、協会と連携して周知方法を検討する。

資材納入遅延による工事停滞と経費負担

電設業協会：一部の機器や部材の納入遅延で工事全体が止まり、技術者や現場体制の維持が企業の負担となる。共通費などの増額だけでなく、工期延長による経営面への影響も考慮してほしい。

県：工期延長時は、延長期間に応じて経費を設計変更で対応している。経営への影響についても受け止める。

スライド条項の手続き簡素化

電設業協会：資材価格高騰に伴うスライド条項は手続きが煩雑。手続きの簡素化や、複数資材を合わせて価格上昇を判断するなど、適用条件の見直しを検討してほしい。

県：資材価格の変動時には、取引価格を設計に反映できる仕組みがある。手続きや適用基準の見直しについては、協会の意見として担当部署に伝える。

LED化事業の安全性・適正施工

電設業協会：土木部ではＬＥＤ化を電気工事として発注しているが、他部局や市町村ではリース方式も見られる。学校や避難所などでは安全性が重要であり、適正施工の観点から土木部の取り組みを他部局などにも伝えてほしい。

県：土木部では電気工事として発注し、地域業者にも配慮している。他部局に一律の対応を求めることは難しいが、具体的な事例があれば情報共有し、安全性や適正施工について周知する。

地域の電気工事業者の受注機会

電設業協会：地域との結び付きが強い電気工事について、入札参加地域を一律に広げるのではなく、工事場所や地域の実情に応じて設定してほしい。地元業者の受注機会確保と、応札促進策も検討してほしい。

県：地元企業の受注機会と競争性・公平性の両立が必要。道路照明などでは地域を絞る場合もあるが、一律の適用は難しい。事例があれば、今後の発注条件を検討する際の参考とする。



県有施設の発注適正化を

県管財課に対し、県有施設のＬＥＤ化など地元電気工事業者を活用するとともに、工事品質の確保に向けた発注方式の適正化を要望、本和田会長が鈴木英治課長に要望書を手渡した。

協会側は、リース方式では工事に適用される基準が適用されない場合があるとして、地元業者を元請けとする分離発注など、工事として適切に発注するよう要請。併せて、価格競争の過度な激化を防ぎ品質を確保するため、最低制限価格の設定も求めた。

鈴木課長は、過去にＬＥＤ化でリース方式を採用した案件が４件程度あったものの、「今は基本的に電気工事でやらせていただいている」と説明。最低制限価格についても内部基準に基づき設定しているとし、要望を踏まえて対応する考えを示した。



今後５年間で全県立学校照明ＬＥＤ化

県教育庁財務課の廣瀬史明課長に対し、県立学校の照明ＬＥＤ化をリース方式ではなく、電気工事として発注するよう要望した。和田本会長はリース方式では照明器具の取り付けなどが工事として扱われず、標準施工と異なる方法で設置されるケースがあると指摘。「避難所となる学校で照明が落下することにもなりかねない」として、安全確保を求めた。

県側は、２０２６年度から５年計画で進める全県立学校における主要諸室の照明ＬＥＤ化について、リース方式を採用せず、電気工事として実施する方針を説明。協会は、電気工事として発注することで地元業者の参入や迅速な整備につながるとして、県内市町村にも同様の対応の周知を求めた。



道路照明のＬＥＤ化を計画的に

懇談後には県道路維持課の杉山康課長に対し、県管理道路の照明設備のＬＥＤ化を計画的に進め、更新工事では地元電気工事業者が施工できる発注方式を活用するよう要望した。

協会側は、近年増えているリース方式では工事として発注されないケースもあり、地元業者の受注機会が失われると指摘。国の交付金を活用したＬＥＤ更新について「メリットがあるのかどうかも含めて検討したい」と回答。県は今年３月にＬＥＤ化計画を策定し、現在約44％のＬＥＤ化率を２０３０年に約66％、将来的に１００％へ引き上げる方針。協会は目標達成に向け、地元業者の活用を求めた。

杉山課長は、国の交付金を活用したＬＥＤ更新について「メリットがあるのかどうかも含めて検討したい」と回答。県は今年３月にＬＥＤ化計画を策定し、現在約44％のＬＥＤ化率を２０３０年に約66％、将来的に１００％へ引き上げる方針。協会は目標達成に向け、地元業者の活用を求めた。

電子版　X（旧ツイッター）
ネット上で最新情報発信中
株式会社日本工業経済新聞社 水戸支局
http://www.nikoukei.co.jp/mito/